

令和5年度 第2回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会企画委員会 議事概要

- 1 日時 令和6年1月24日(水) 18:30~20:00
- 2 開催方法 オンライン (※配信場所：総合精神保健福祉センター 1階デイルーム)
- 3 参加者 (以下、参加者名簿順)

委員：研究機関(近藤毅)、北部地区医師会(古謝淳)、中部地区医師会(兼城賢作)、南部地区医師会(城間直秀)、那覇市医師会(玉井修)、浦添市医師会(山本和儀)、県地域保健課(仲里典子)、総合精神保健福祉センター(宮川治)

事務局：センター(赤嶺・比嘉・山城)

4 会次第 会議資料参照

(1) 報告

- 1) 自殺の統計について(地域保健課)：別添資料参照
- 2) 令和5年度かかりつけ医等心の健康対応力向上研修について(事務局担当)：別添資料参照

(2) 協議事項と検討結果

令和6年度かかりつけ医等心の健康対応力向上研修について 以下、概要

テーマ及び講師の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・統計データからも沖縄県は自殺者のうち自殺未遂歴「あり」の割合が多く、特に女性で全国の約1.5倍である。企図を繰り返している間は救うチャンスがある。 ・「アルコール」や「発達障がい」のテーマで何度も研修会を実施している。今回は、「過剰服薬患者や自殺企図患者の対応について」のテーマで研修会を企画してはどうか。 ・一般診療の中で手首を切った患者を診ることがあり、かかりつけ医の視点からも重要だと感じる。特に企図者は若者が多く、対応に困ることが多い。自殺企図や自傷を繰り返す子たちにどのように関われば良いか知りたい。 ・小児科、学校医として自殺企図というといじめの話もしてもらえると良い。 ・テーマを自殺企図に絞り、深く話してもらおうということも考えたが、自傷も含めた話がニーズが高そうなので、自傷から企図までという内容が集客力があるかと思う。内容としては、自傷や企図を行った人を目の前にしたときにどう対応したら効果的かという実践的な話の方がかかりつけ医の先生が身近な問題として関心を持ってくれるのではないかと思う。
テーマ案	自殺企図者の対応～落ち着いて患者に向き合うために～
講師案	<ul style="list-style-type: none"> ① <small>カワニシ テアキ</small> 河西 千秋 (札幌医科大学 教授) ② <small>オオツカ コウタロウ</small> 大塚 耕太郎 (岩手医科大学 教授) ③ <small>ミカミ カツオ</small> 三上 克央 (東海大学 教授)
時間	2時間
開催方法、開催日	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン ・日程 (案1) 令和6年11月13日(水) (案2) 令和6年11月20日(水) (案3) 令和6年11月27日(水) ※調整が難しい場合は11月の木・金曜日で調整予定
次年度企画委員会の日程	<ul style="list-style-type: none"> 第1回：令和6年6月12日(水) 18:30~20:00 第2回：令和7年1月22日(水) 18:30~20:00